

みんなには厚真高校です

少人数の利点を生かし、特色ある教育を推進している北海道厚真高等学校。

今月は、厚真高校の平成16年度卒業生の進路先や部活動などについて紹介します。

卒業生の進路について

平成16年度は、34人の卒業生が本校を巣立っていきました。

そのうち3人が四年制大学へ、同じく3人が短期大学へ、11人が専門学校へ進学しました。(表1) また、13人が超氷河期といわれる厳しい状況の中でしたが、卒業式を前に就職内定を手にしました。

卒業式の時点で進路の決定していなかった卒業生も、その後の就職活動の結果、町内外の皆様のご協力もあり、現在、全員が就職を果たしています。

また、例年多くの学校から指定校推薦枠(表2)をいただいております。志望と合致した生徒は積極的に利用して進学しています。さらに進学だけでなく、就職に関しても地元事業所を中心に厚真高校を指定して求人をお願いすることも

あり、多くの事業所から本校へのご理解とご協力に對し感謝いたしております。

在校生におきましては、それぞれ希望の進路を実現するために、講習や資格取得に向け頑張っているところです。景気が上向きになって来たとの報道もありますが、まだまだ厳しい高校新規卒業者の就職状況です。本校卒業生の就職に関して有益な情報などありましたらお知らせいただけると幸いです。



(表1)

平成16年度 卒業生進路	
【四年制大学】	
北海道文教大学	札幌国際大学 北海道工業大学
【短期大学】	
札幌国際大学短期大学部	北海道浅井学園大学短期大学部 國學院短期大学
【専門学校】	
北海道調理師専門学校	札幌医療秘書福祉専門学校 札幌お茶の水医療秘書歯科助手専門学校 北海道エココミュニケーション専門学校 北海道ハイテクノロジー専門学校 札幌理工学院 栗山町立北海道介護福祉学校 北海道立苫小牧高等技術専門学院
【就職】	
大西建設工業株式会社	北辰公業株式会社
社会福祉法人北海道厚真会	有限会社ジェイ
エイサービス	厚真町商工会 株式会社北海道銀行
トヨタ自動車北海道株式会社	朝日建設工業株式会社
丹治秀工業株式会社	川秀株式会社
ザ・ニドム・アーレックスゴルフクラブ	北海道宇佐美苫小牧サービスステーション

(表2)

17年度 指定校 推薦 枠 (道内のみ掲載)	
7月22日現在	
《四年生大学》	《専門学校》
苫小牧駒澤大学	札幌建築デザイン専門学校
北海道工業大学	札幌理工学院
道都大学	日本ビジネス総合専門学校
札幌国際大学	北海道情報専門学校
札幌大学	日本航空専門学校
北海道文教大学	札幌商工会議所付属専門学校
北海道浅井学園大学	北海道ハイテクノロジー専門学校
《短期大学》	北海道エココミュニケーション専門学校
札幌国際大学短期大学部	青山工学専門学校
函館大谷短期大学	
北海道浅井学園大学短期大学部	

学校祭について

7月15日(金)、16日(土)の2日間、第25回厚真高校学校祭「The青春 厚高祭 はじけMAX」が開催されました。

第1日目は、体育館での開会式の後、各学年の演劇が上演されました。全生徒、教職員、さらには父母、一般観客が見まもる中、生徒は精一杯の演技を披露しました。

さすがに経験豊かな3年生が貫録で最優秀賞を獲得しましたが、初登場の1年生もきらりと光る演技で拍手喝采を浴びました。先生方による教員発表も笑いを誘う内容で、なかなかの好評でした。

第2日目は、10時から各教室で学年ごとの出し物や写真部・美術部の展示、さらにはチャリティーバザー、食堂バザーが行われました。

今年の装飾のテーマは「国」。それぞれの企画ごとにテーマとなる国を決め、その国にちなんだ装飾を施しました。どんな国が登場したかというところ、日本をはじめ、フランス、イタリア、アメリカ(ハワイ・ラスベガス)、オランダ、スペイン、オーストラリア、ジャマイカ、ポツワナととてもバラエティに富んだものでした。以上の展示は1時半に終了し、その後体育館でダンス発表が行われました。

これは昨年から始まったもので、今年は1チーム6〜8人のダンスチーム14チームが、自分たちが考案したダンスを音楽に合わせて踊り、その技を競いました。結果は3年生と2年生のチームが優勝を分け合いました。さらにステージでは、個人による発表が行われましたが、出場者も多く楽しい内容でした。

表彰式、閉会式と続き、いよいよグラウンドに出て恒例の「ジנגスカン」です。こういうときに野外で食べるジングスカンの味は格別ですが、サッカーの的当てゲームやビンゴゲームを交えながら、最高に楽しい夕食となりました。



①14チームが参加したダンス発表
②2年生による演劇
③恒例の野外ジンギスカン
④模擬店「やすらぎ」



した。
そして最後は、暗くなった夜空に向かつて花火が何発も打ち上げられ、生徒や迎えに来ていた父母の歓声の中、第25回厚真高等学校祭は幕を閉じました。

野球部から 23年ぶり公式戦勝利

野球部は今年度に入ってから、2つの大会がありました。

5月に行われた春季大会では、浦河高校に0対9と圧倒的な力の差を見せつけられ、7回コールドゲームで敗退しました。

6月27日からは、3年生の最後の公式戦となる全国高校野球選手権大会南北北海道大会・室蘭支部予選が行われました。

第1回戦の富川高校戦は、序盤は一進一退の攻防でしたが、中盤以降、ランナーをためてヒットや相手のエラーで加点し、守っては3年生バッテリーを中心に、バッツクの7人が固く守りきり、11対3の7回コールドで勝つことができました。

第2回戦ではBブロックシード校の鶴川高校と対戦し、0対13(5回コールド)と完敗でしたが、鶴川高がテーマとする「元氣、本氣、一氣」の三氣野球は、本校が目指すところと共通する部分も多く、大変勉強になる一戦でした。

野球部復帰から2年が経ちましたが、今年は春の練習試合で復帰後の初勝利をあげ、夏の大会では23年ぶりの勝利を収めることができました。少ない人数の中、生徒たちが苦しい練習に耐え、あきら



▲23年ぶりに勝利を収めた富川高校との試合後の野球部メンバー

▼主将で夏の北海道大会室蘭支部予選で選手宣誓をした山口捕手



▲富川高校、鶴川高校戦で力投した加藤投手

めずに頑張ってきた成果がやっと一つかたちとなって表れた気がします。また、大会期間中は多くの町民の方に励ましや応援の言葉をいただき、選手・指導者一同、皆さんの力をいただきました。どうもありがとうございました。

現在も部員不足は解消されていませんが、秋の支部代表を目指して日々の練習に励んでいきたいと思えます。

バドミントン部から 全道大会に出場多数

7月28日(木)、苫小牧市総合体育館において、第58回北海道バドミントン選手権大会苫小牧地区予選会が行われました。

3年生は、この大会が最後の試合となるため、学校祭準備と重なる忙しい中も夜遅くまで練習し頑張ってきました。良い結果で終わった選手やそうでない選手がいましたが、どの選手も最後まで羽を一生懸命追いかける姿を見せてくれ、次の厚高バドミントン部を担う後輩たちにその意志を引き継ぐことができたと思います。

3年間の部活、本当にお疲れ様でした。

【今年度バドミントン部大会成績】
▼第60回国民体育大会バドミントン競技苫小牧地区予選会／男子ダブルス優勝 三谷俊介・内山健輝【全道大会進出】、16位 畑山裕太・酒井優一、男子シングルス準優勝 三谷俊介【全道大会進出】、3位 内山健輝【全道大会進出】、女子シングルス16位 武田美津穂
▼第57回北海道高等学校バドミントン選手権大会兼第56回全国高等学校バドミントン選手権大会室蘭支部予選会／男子団体3位、男子ダブルス準優勝三谷俊介・内山健輝【全道大会進出】、男子シング

▼地区予選会の男子シングルスで優勝し、全道大会に進めた三谷選手



▲高体連室蘭支部予選会にて

▼地区予選会の男子ダブルスで優勝し、全道大会に出場権を得た三谷選手(左)と内山選手



ルス準優勝 三谷俊介【全道大会進出】、16位内山健輝
▼第58回北海道バドミントン選手権大会苫小牧地区予選会／男子ダブルス3位三谷俊介・内山健輝【全道大会進出】、女子ダブルス16位 小谷美樹・武田美津穂、男子シングルス優勝 三谷俊介【全道大会進出】、4位 内山健輝